

議事録

会議等の名称	令和3年度 東御市総合交流促進施設運営委員 会	開催日時	令和3年10月14日(木) 午前10時00分～ 午前12時00分
		場 所	勤労者会館大会議室
主催者(事務局)	東御市企画振興部 文化・スポーツ振興課文化係	議 長	岡部昌幸(会長)
出席者 (敬称略)	委員：伊藤羊子、小笠原正、岡部昌幸、角りわ子、保科豊巳、前沢朋美、御子柴大三、 三澤一実 計8名 事務局：小菅企画振興部長、滝澤文化・スポーツ振興課長、神津文化係長、大竹梅野 館長、日向、川崎 計7名		
欠席者 (敬称略)	委員：梅野亮 計1名 事務局：佐藤晚霞館長 計1名		
1 開会	事務局	(開会)	
2 委嘱書交付	市長	委員の委嘱を行います。代表して、伊藤羊子委員に花岡市長から委嘱書を渡します。 (委嘱書交付)	
3 市長あいさつ	市長	皆さまには日ごろから梅野記念絵画館ふれあい館もとより東御市文化行政全般にあたりまして多大なる尽力を賜っておりますことにこの場をお借りして御礼申し上げます。昨年度は新型コロナウイルスの影響により臨時休館、イベントの中止、延期を余儀なくしましたが今年度は新型コロナ対策をとったうえで予定の展覧会を順次開催することができています。絵画館は開館から20年以上経過し、施設の老朽化も進み、厳しい財政状況の中ではありますが、空調改修をはじめ設備の再整備を進めています。委員の皆さまには施設の適正かつ円滑な運営を行うための審議とともに新たな活動についての意見やご提案、施設の運営マネジメントについてのご意見ご提案にも期待しております。	
4 運営委員会の役割について	事務局	(説明)	
5 役員の選任	事務局	役員の選任に移ります。会長には当該条例施行規則第4条の規程で互選によるものとされていますがいかがでしょうか。	
	委員	事務局で何か案があればその形がいいかと思えます。	

	事務局	<p>事務局としましては、前会長の岡部昌幸委員に会長をお願いしたいと考えています。</p> <p>(異議なし)</p>
	岡部会長	<p>自然に囲まれた豊かな実りのある信州の重要な水的な発信地である梅野記念絵画館をなんとか私たちが支えていきたいと思っておりますので先生たち方、今まで以上にご協力をお願いします。</p>
	事務局	<p>副会長に御子柴大三委員、角りわ子委員をお願いしたいと思います。</p> <p>(異議なし)</p>
	御子柴副会長	<p>去年で友の会の会長職を退任しました。第2回私の愛する一点展からずっと毎年欠かさず出していて、やっぱり梅野の初代館長の目というものを信用していました。その目というものは人に伝わるものだと思っています。当時は400名会員がいましたが、今はコロナ等色々あり、200人くらいなので、もっと広めていきたいと思ってます。なんとかこの運営を支えていきたいと思えます。</p>
	角副会長	<p>地元で焼き物をやっています角と申します。今、東信濃工芸作家展をふれあい館でやらさせていただいています。地元の工芸作家の方と東御市の交流をメインに、ふれあい館の活用して地元へ貢献する事を一番に考え、お手伝いさせていただいています。色々ご意見などお聞かせいただければ嬉しく思います。</p>
6 市長からの諮問	市長	<p>(市長が諮問書を朗読し、会長へ渡す)</p> <p>(市長退席)</p>
7 報告事項 (1) 令和2年度事業実績について (2) 令和3年度事業取組状況について	事務局	<p>報告事項です。ここからの進行は岡部会長をお願いします。</p>
	岡部会長	<p>(1)(2)は関連がありますので、(1)と(2)を続けて事務局より説明をお願いします。</p>
	事務局	<p>(説明)</p>
	委員	<p>ナイトミュージアムのお客様の年齢層や参加人数などの効果を参考までに教えてください。</p>

	事務局	<p>イベントの内容によって参加される年齢層が異なります。4月の大竹館長と前佐藤館長副館長によるセッションは年配の方に参加していただきました。7月の地元ハーブ奏者の竹内春香さんのハーブの演奏会は子供から年配層までの幅広い世代の方にお越しいただき、9月の地域おこし協力隊の藤井幸子さんのペンライトワークショップは小学生の子供をもつ親子でした</p>
	委員	<p>工芸作家展を拝見して非常に面白かったです。質も高いし、スペースがもう少し欲しかった。できたら工芸などは制作のプロセスが見えるといいなど。例えば色んな観光施設でもものが売ってますがあのレベルになっているのでやっぱり美術館としては物が作られていくまでの背景や、またどういいう人なのかなど、作品以外の情報も展示していただけると非常に親しみやすくなるいいレベル。興味も高まる展示になると思います。是非続けていただき、いい展覧会に発展させて頂きたいと思います。</p>
	事務局	<p>三澤先生のお話の中で、繭から糸をとる講座のプロセスの中で非常にいい講座で凄く興味深いワークショップだった。</p>
	委員	<p>日本の絹ってほとんど作られてないので、その上田地域の特別なものを残していこうとしている工芸作家の方々がいっぱいいて、今回はワークショップをやりました。今回は人数制限がありましたが、コロナが収まったらもっと沢山の方にやっていただきたい。この地方では最も重要な文化の1つだと思っています。私たちもこれからもっとやっていきたいと思っています。</p>
	事務局	<p>人気が凄くて、電話で大分お断りをして本当に申し訳なかったなと思います。また是非宜しくお願いします。</p>
	委員	<p>是非その記録を YouTube 等でアップして頂きたいです。地域おこし協力隊の方もいますので、映像にまとめて美術館のアーカイブにしていけばそれも1つの美術館の財産になっていくので。また繭という視点はすごくいいです。こちら辺のお年寄りの非常に会話も出てきますので非常にいいと思います。</p>
	委員	<p>今回は Facebook で実験配信をやります。またご報告できれば。</p>
	委員	<p>実績という意味で全国的にコロナで集客減というのはもうしょうがないことだと思います。先ほど三澤先生のお話にもありましたがアーカイブとして残していただければいいかなって思います。むしろどうやってやればいいのか教えてもらいたい。</p>

	事務局	<p>まず私の愛する一点展の月間ギャラリーの特集ですが、コロナ過で我々のような小さい美術館が苦しく、盛り上げるために協力してほしいと編集長と編集に直談判に行きました。その結果、年間のスケジュール、カラー2 ページで特集、大竹館長と（友の会の）御子柴会長との対談 10 ページという特集を組んでくださいました。普通は 100 万～150 万くらいかかるという話ですが、20 万くらいでやってくださいました。狙いとしてはコロナ過でなかなか人が来れないのでアーカイブの部分を意識したつもりです。また河野扶展につきましては芸術新潮とタイアップしました。歴史の長い芸術雑誌でもありますので資料として残っていくという意味を期待して申し込みました。</p>
	事務局	<p>月間ギャラリーの編集長は昔の梅野隆を知っていて、うちの館に興味をもって面白がってくれた。また何かで特集をやりたいかとも言われました。梅野隆の仕事に対する一定の評価をいただいて、その延長線上にうちの美術館があるような印象を抱きました。</p>
	委員	<p>展示がどうにかなんないかなってというのがいくつかありました。展示に関するワークショップも佐久でやっていますので、家具の展示がもう少し工夫すると見え方がよくなると思います。障がい者展の時に一般の人達とどう展示したら作品の魅力が高まるかディスカッションしたり、実際やりながら展示を創っていくというワークショップによってかなりの力が付いています。せっかく展示もやるんだったらワークショップも開いてそこで見せ方を研究していく。そういった時にアドバイザーとして保科先生に来ていただくとか、やっぱり総合的に力を付けていくのも美術館の役割なので展示する機会を活かしてワークショップも開いていたらいいんじゃないかなと思っています。</p>
	事務局	<p>家具のライフイズアートは、三澤先生から直接ご指導いただきました。展示の方も勉強していきたくと思っています。また機会がありましたら参加していきたくと思っています。</p>
	委員	<p>ライフイズアートの展示室が 100 平米の小さい空間に納まっていて大きな展示室でやるよりも市外の若い感性も見れましたし、作品も生活の中にあればキャプションも当然ないので。本来の生活の中でどういう風にあるのかなっていうものが所蔵品を生かしてじっくり見ることが出来て、本来の作品の見方みたいなものを展示されているなど。美術館に見に来たという感覚がなく生活の中にあるという気分で見に来ました。非常に晴れやかな気分で、いい展覧会で見習うべき所が沢山ありました。</p>

<p>(3) 梅野記念絵画館 運営課題及び取組状 況について</p>	<p>委員</p>	<p>高齢化が進んで文化という力を地域に定着して若い人をもっと参加させていく方向がなかなか難しいものです。どうしたらもっと次の世代と文化芸術が繋げられるかが大きなテーマです。今美術をやる若者の数が激減しているからです。総合的に文化芸術の教育を絡めてやって美術館の中に若い世代を入れていかないと大変なことになる。では若い世代にどうやって植え付けるのか、美術のクリエイティブな想像を養うのは美術は物凄くいい。それをどうやったら次の世代に体験させて育てていくか。長野県は自然が豊かで、そういう自然観という文化芸術が子供の中で立花してクリエイティブな能力のある子を育てていくことを考えています。そういう役割として少し考えてもらいたい。</p>
	<p>委員</p>	<p>今の芸術は僕が高校の時でいう鑑賞教育です。実は一番思春期にアートは必要で、思春期は人生を考えたり失恋するから一番その時に美術・音楽・小説って頭には一番いいです。この時期に鑑賞教育のようなものがあると、もっと日本という国が美術として優秀な国になると思います。そういうのが美術として人生を考える一つとしてなる方がいいし、梅野でもそういうのやれたらいいなと思います。いい作品があると鑑賞者が伸びる。厳しい鑑賞者がいるからいい作家が生まれる。その循環がなければ日本の美術は滅びます。長野県は長野県でいい作家を育てるのは非常に重要だと思うんです。</p>
	<p>委員</p>	<p>鑑賞教育もすごく大事だと思うんですが、もうひとつ大事なのが、体験する・体が感じるっていうのがクリエイティブにはもの凄く重要だと思うんです。繙っていうのもどんなふうに出てくるっていうのも体験していくのも重要です。ワークショップ型と鑑賞型を合わせてやっていくといいですよ。</p>
	<p>岡部会長</p>	<p>(3) 梅野記念絵画館運営課題及び取組状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
	<p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>(説明)</p> <p>今までも年ごとに課題を出していましたが抜本的な改革に繋がってきませんでした。そろそろ20年後を考えた長期戦略を立てる必要があると思います。これから5年というのは今までの20年以上に変化が激しい時代になってくるので、そこは大胆な発想でかなり挑戦的な戦略が必要だと思います。普及活動に関してはさまざまな具体的な取り組みもやっていますので必要であれば協力します。</p>

<p>8 審議事項</p> <p>(1)「令和3年度取得作品(案)について」</p> <p>(2)「令和3年度事業計画(案)」</p>	<p>岡部会長</p> <p>事務局</p> <p>岡部会長</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>続きまして、審議事項に入ります。(1)「令和3年度取得作品(案)について」について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(説明)</p> <p>(2)「令和3年度事業計画(案)」について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(説明)</p> <p>委員</p> <p>はらぺこめがねさんは東御市にお住まいの作家ですか。</p> <p>事務局</p> <p>東京の作家ですが、きっかけは今年開催したDJみそしるMCごはんの原画展で、彼女のCDのアートワークをされた繋がりでご紹介いただきました。</p> <p>委員</p> <p>地域の美術館って地域に根付いているのが一番だと思うので、折角東御市でやっている美術館なので地域に還元できるような内容はすごくいいと思います。また子供たちの幅広い年齢層が来られそうなものなので、コロナも少しずつ収束していけば凄くいい季節ですので沢山来館があるといいと思います。</p> <p>美術館というところちょっと分からないとか違った目線で見られがちですが、市の長期的な戦略や計画における美術館の役割を見据えたくえで事業を部をあげてご協力いただければ美術館で働くものとしても嬉しいです。凄い楽しみにしています。</p>
<p>9 答申</p>	<p>岡部会長</p> <p>事務局</p> <p>岡部会長</p>	<p>それでは事務局から答申(案)について朗読をお願いします。</p> <p>(答申(案)配布)</p> <p>(答申(案)朗読)</p> <p>以上で、本日の審議事項は終了です。</p>
<p>10 その他</p> <p>令和5年度以降の事業計画について</p>	<p>事務局</p>	<p>(説明)</p>
<p>11 閉会</p>	<p>御子柴副会長</p>	<p>(閉会)</p>